

令和6年度第2回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 令和7年3月17日（月） 14時00分～15時40分
- 2 開催場所 京丹後市大宮庁舎第2・3会議室
- 3 出席者 藤田泰弘会長、澤吉博副会長、吉岡百代委員、小西安子委員、
松尾秀行委員、畑中順二委員、芝野吉実委員、小山元孝委員
事務局 村田雅之課長、岡林峰夫課長補佐、本田咲子主任、
奥勇介主任、
欠席者 岸泰子委員、今村実来委員、
事務局：松本明彦教育長、川村義輝教育次長、藤田智子主任、
村上公太主任
傍聴人 0人
- 4 内容

1 開会

<事務局>

本日は、公私ともに御多忙のところ、御出席いただき、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから第2回京丹後市文化財保護審議会を開会いたします。

松本教育長並びに川村教育次長につきましては、本日別の公務がございまして、欠席をさせていただきます。御了承ください。

それから、岸委員につきましては、欠席の連絡をいただいております。今村委員は、欠席の連絡をいただいていませんが、もしかしたら欠席される可能性もございます。

それでは、開会にあたりまして藤田会長より一言御挨拶いただければと思います。

<会長>

皆さん御苦労さまです。三寒四温と申しますけれども、今日は寒いですね。明日はきっと暖かいなと思いながらここにおります。とりあえず御苦労さんでございませう。

このところ、話合いにひと段落つけて、次に進めたいというふうに思っていますので、今日はできるだけ多くの御意見をちょうだいして、その上で最終案をまとめて、次回に上げていくというような段取りで進めたいと思います。

よろしくお願いします。

<事務局>

ありがとうございました。それでは着座にて説明させていただきたいと思います。
次に、本日の資料の確認をさせていただけたらと思います。

(資料の確認)

それでは、会議次第により進行させていただきます。

早速ですが、審議会を始めていきたいと思いますので、以下の議事進行につきまして
は、藤田会長にお願いしたいと思います。

会長よろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 令和6年度文化財関係事業について(資料2)

<会長>

今日の議事は、今年度の文化財行政の進み具合の振り返り、それから、従来からあります指定の件を今日できる限り詰めていくという、その2点になると思います。

最初に本年度、文化財行政全般にわたって、報告のほう、ちょうだいできますか。

【事務局説明】

<会長>

ありがとうございました。質問等ございませんか。

なければ、私のほうから1点お願いがございます。

銚子山が4月26日にオープンするということですが、資料の地図でいうと、銚子山と駐車場の上に畑というか民間の土地がありまして、竹がものすごい数生えています。前に比べてはるかに低くなったのはよく分かっていますが、ここに車を停めて見たら、その竹によって古墳の上のほうしか見えないのです。私はどこに古墳があるか分かっているのです。そういう目で見えていますけども、どこに古墳があるか全然分からない人があれを見て、本当に分かるかなと思って。本当に古墳の上のほうしか分からない。何とか上は見えるんですけど、もうちょっと低くならないかなと思います。全体を見たら、ああこなんだなというのは誰でも分かるのですけど、ただ上だけ見て本当に分かるのかなというような気がするのです。せっかく切るならこの際もうちょっと下まで何とかいけないのかなと思いました。以上です。

<事務局>

周辺の草が伸びていて、古墳が見えないというところですよ。

その場所は、以前にも藤田会長からもそういう意見もいただいておりますし、確認はしているのですが、個人さんの民有地ということになりますので、こちらから願

いするにしても限界があるところで、市が自ら草を刈るわけにはいかないものですから、なかなか限界がありまして、地元区のほうからも、そういう声かけはしていただいているとは聞いているのですが、すぐにということにはなかなかならないのかなというふうに思っています。

<会長>

低くはなっているのですよ。だから古墳の上を見ようと思ったら見えないことはないんですけど、竹のうっそうと茂ったやつがまだ多くありますので、どこに古墳があるのか分からない。前より随分見やすくはなっているし、見えないことはないんですけども、やるんだったらもうちょっとやってほしいなと思います。

かつて半年前は、まるっきりどこに古墳があるんだという状態でしたけど、上は見えるまでカットはしているのです。それやったらもうちょっと切ってと。そういう話なんですけどいかがですかね。

<事務局>

先ほども申し上げましたが、民地ということもありまして、お願いベースでしかこちらもしていないところはありますけども、お願いしてどこまで刈っていただけるかっていうところに今は留まっている状況です。

これは以前、史跡整備検討委員会という別の会議でも多分御意見いただいていた、事務局のほうからもそれをお願いをさせていただいているということはあるんですけど、確かに今はまだ冬から春にかかるころですので、草だとか樹木が伸びてきていませんが、これから夏にかけては一層伸びてくる時期になりますので、引き続きこれは継続してお願いしていくしかないのかなと。

どこにあるかが分からないというのは、先ほど資料2-2の説明で、右下のところに駐車場ができますので、ここから古墳に向かっては当然ですけど案内表示をしますので、場所自体は分かっているだけだと思います。この地図でいうところの赤い丸2番のところまで来ると、本当にこの墳丘がきれいに見えてきますので、そういった意味では案内表示もしていきますので、分からないということにはならないかなと思いますが、離れたところから見る墳丘の景観というのもありますので、そこはちょっと事務局としても継続して、網野連合区さんなどを通じてお願いしてこうとは考えています。

<委員>

その件ですが、逆にあれがあっていいなという意見もある。駐車場で降りて、案内版を見て、あっちに古墳があるんだけどどこにあるんだろう思いながら歩いていく。そしたら、竹藪が開けて、感動するんだそうです。

それで、実際に見聞きした人の話ですけども、かえってあれのほうがいいな、という。史跡整備検討委員会の委員長の三浦さんが、あかん思ってたけども、やっぱりあれもいいんじゃないかと。そういうこともあるんですね。

ちょっと距離がありますから、駐車場から歩いていく真ん中辺で、霧が晴れたようにすかっと見える。そういう意見がありました。

<会長>

ありがとうございます。三浦さんっていう、最初に発掘をなさった方がそうおっしゃっているのなら、むげに、そんなことはあり得ないというふうには言いませんけれども、人間の見方はいろいろあるということで。

この地図でいうと、青の2番から3番の間は眺望をカットするんですよ。そして3番のところに行ったら全体が見える。

この半年の間に上をかなり刈っているのは間違いない。だから見えるようにはなっているんですけど、あの中途半端なこの見え方は具合悪いよねというふうに聞いたもので。でも三浦さんは全然違うこと思っていた。ありがとうございます。

この件はそういうことにしまして、ほかにございませんか。

(2) 京丹後市指定文化財について（非公開）

<会長>

次に、指定文化財に進みますが、非公開でこの審議を行うというつもりでよろしくお願いします。事務局から説明よろしくお願いします。

【以下、非公開】

(3) その他

<会長>

閉鎖は解除していただいて、議事1と2は今日審議をさせていただいたということです。

その他、皆さん、ございましたら。

<事務局>

一点報告をさせてください。現状変更の関係です。

久美浜にあります三嶋田神社の環境保全地区に指定されているエリアで、支障木を2本伐採しましたので、その御報告をさせていただきます。

場所としましては、1本目が大通りというか、鳥居があるほうの大きい道の側に松が1本ありまして、それが道路側に倒れる危険性があるということで伐採をしています。

もう1本は、大きい道路から反対側の畑のすぐそばの椎の木が倒れそうだということ

で、こちらの木を伐採しています。

2月の月上旬に伐採が完了しているということで、御報告をさせていただきます。

以上です。

<会長>

ありがとうございます。

私ちょうど伐採をするときに通りました。

<委員>

それこそ古墳公園のオープニングのときに、うちもゼミ生を連れて、ワークショップしようということで、今度古墳しおりづくりをしようと、今準備をしておりますので、皆様よろしくをお願いします。網野南小学校の子どもたちと一緒にやるということで、私の母校ですので、この間学生を連れて行ってまいりました。

また、秋もこまねこまつりとか、まちあるきで一緒にやろうかということでして、京都古文化保存協会の非公開文化財特別公開に合わせて今できるかなという話を整え始めているところです。

<副会長>

俵野廃寺のことです。

もう今は跡形もないので廃寺といわれているのですが、俵野廃寺の直径が1メートル80センチといわれる塔心礎。五重塔の、五重かどうかは別にして、塔の礎石が、半分になっているのです。半分は、今は俵野川の流れの中にあって、残りの半分が記念として、丹後の郷土資料館へ移転された。

郷土資料館は、当時は木津にありましたが、今は郷の小学校跡へと移転している。塔心礎の半分が木津にあった郷土資料館、そのときには資料館の玄関の近くで、誰もが目につくところに置いてありました。それから、簡単な説明板もついていて、1か所間違いがありましたが、この石なんだろうって読めば分かったのです。

ところが、それが郷の資料館に移動しまして、石の半分も郷のほうへ移ったんです。それを僕もどこ行ったのか全然分からなくて、尋ねたら、郷にあるということでした。

今はもう、郷の郷土資料館を訪れた人、ほとんど誰も目にすることはないと思います。小学生が通っていた頃の児童の昇降口の横にあって、資料へ入るには、そこは通らずに教職員の玄関、普通の玄関から入ります。だから、全く見ないのです。そして説明板もない。僕は、そこにあるということを聞いたので、そっちへ行かせてもらっていいか聞いたら、その女の人がどうぞということで、見たんですが、説明がないから草が半分ほど覆っているのです。

そこで要望です。せめて、玄関に矢印でも示して、はっきり分かるように、そちらへ行ったらああいうものがありますと。そして、そちらへ行ったら石があって、石のそばには説明板をつけてほしいなと思います。なぜ俵野廃寺の塔の礎石がここにあるかとい

うこと。簡単でいいですから。

そうでないと、俵野廃寺がかわいそうです。今のままだと、文化財の放置です。せめて、ここにこういうものが、こういうわけで置かれているんだということ。行った人に分かるようにしていただきたいなと思います。

以上です。

<会長>

よろしくお願いしますとか言いませんけれども、分かっていると思います。

ほかに皆さん、ございますか。

<委員>

鳴き砂文化館についてPRさせていただいてよろしいですか。

鳴き砂文化館は、オープンしてからもう20数年経つということで、展示が非常に古くなっている。それと、あそこの展示や琴引浜の研究に深く関わってこられた安田先生の御夫妻もそろそろもう引き上げようかなという。そんなこともあって、ネイチャークラブハウスにあったものも含め、全部コンパクトにまとめて展示し直したいという、そんな御意向もあって、この度、展示の一部リニューアルをさせていただきました。

従来からある漂着物とか鳴き砂とか、その辺も整理し直して展示したということと、もう1つ新たに、ギフチョウの関連ですけれども、琴引浜の生物多様性ということに焦点を当てた展示を一角に設けました。今回話題になっておりますギフチョウをはじめ、ほか山野草も含めて、小動物、植物などを、その環境ごとに展示いたしております。

そういうことで、もし御興味がございましたら、ちょっと覗いていただければと思います。新年度からということですが、大体展示は終わっております。

<会長>

ほかにございますか。なければ議事終了ということです。

3 閉会

<事務局>

それでは、皆様本日は本当にありがとうございました。

閉会にあたりまして、澤副会長から御挨拶をいただきたいと思います。

よろしくお願いします。

<副会長>

指令指定文化財については、貴重な御意見をいただきました。ありがとうございました。

来年度の諮問、指定に向けて、次回の審議会ではより具体的に審議をしていかなけれ

ばならないと思います。よろしくお願いします。

御苦労さまでした。

<事務局>

ありがとうございました。

それではこれをもちまして、第2回京丹後市文化財保護審議会を終了いたします。

皆様本当に1時間半以上の長い間、御議論いただきましてありがとうございました。